

～子どももおとなもみんなで学ぶ～

つながる ふくしの 7つのことば



藤枝市社協キャラクター
キ一坊

わたし
私たちのまわりには、いろいろな人がいます。みんな、年れ
い、性別、生まれた国、からだの大きさ、好きなもの、趣味
など、さまざまなもののが違います。その違いを受入れ、お互いを
認めあうことが大切です。みんながお互いに支えあう社会をめ
ざしていきましょう。

それでは、ちょっと気になる7つの「ふくし」のことば。
みんなで学びましょう！

1. 「ふくし」

「ふくし」という言葉を聞いて、どんなこと
おも
を思いうかべるでしょうか。

お年寄りやからだが不自由な人、子どもなど、
弱い立場になりやすい人のためのもの。それも
正解です。そして、あなたがあなたらしく、元気
に生きていくことができるようにするための
ものでもあるのです。

「ふくし」は、

ふだんの くらしの しあわせ

という意味です。

あなたの“ふだんのくらしのしあわせ”は
なんですか？

けんり 2. 権利

わたし 私たちは、みんなとゆずりあいながら、自分で“やりたいこと”と“やらないこと”を決めることができます。それが「権利」です。私たちみんな、生まれたときから「権利」があります。

わたし 私たちのまわりにはいろいろな人が暮らして、その一人ひとりが大切な存在です。どうしたらみんなの「権利」をまもることができますかを、みんなで考えていくことが必要です。そのために、お年寄りやからだが不自由な人、子どもなど、弱い立場になりやすい人の「権利」をまもるための約束もあります。

？調べてみよう？

にほんこくけんぽう だい じょう こうふくついきゅううけん だい じょう せいぞんけん
日本国憲法 第13条 「幸福追求権」、第25条 「生存権」

じどう けんり かん じょうやく しょうがいしやけんりじょうやく
『児童の権利に関する条約』 『障害者権利条約』

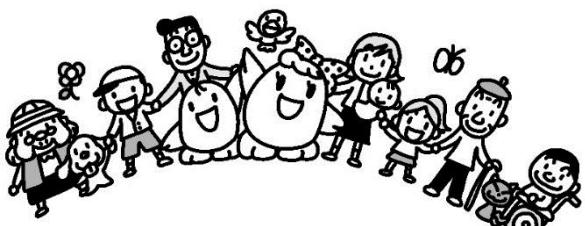
3. ノーマライゼーション

お年寄りやからだが不自由な人、子どもなど、
弱い立場になりやすい人を特別あつかいするの
ではなく、みんなが同じように自分らしく元気
に生きていくことをめざす考え方です。「ふく
し」について考えるときに、一番大切にしたい
ことです。

年をとってもからだが不自由でも、自分らし
く生活したいと思う気持ちはみんな一緒です。
誰もが同じ人間として、あたりまえのことをあ
たりまえにできる社会をつくっていきましょう。

？調べてみよう？

“ノーマライゼーションの父”
バンク・ミケルセン



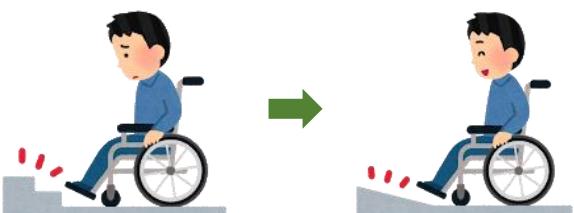
4. ユニバーサルデザイン

「ユニバーサルデザイン」は “すべての人のためのデザイン” の意味があり、年れいやからだが不自由かどうかに関係なく、最初からみんなが使いやすいものにつくることです。また、今あるものから使いにくい部分をなくして、みんなが生活しやすくすることを「バリアフリー」といいます。

道路や建物などの段差をなくしたり、みんなが使いやすいものつくったりするだけでなく、私たち一人ひとりがやさしさや思いやりをもって行動することも大事ですね。

調べてみよう？

心のバリアフリー



か つ ど う 5. ボランティア活動

わたくし 私たちの住んでいるまちをより良くするため、くらしの中の困りごとをみんなの助けあいの力で解決するための活動です。お金のためではなく、誰かの役に立ちたいという気持ちで、自分から進んで自分にできるお手伝いをすることが大切です。

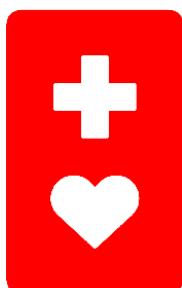
じぶん 自分がやったことで、誰かが喜んでくれたらうれしいですね。そのためには、相手の立場に立って活動することが必要です。

また、ボランティア活動をすることで、知らなかつどう ひつよう し あたら とも じなったことを知ることができたり、新しい友だちができたりと、あなたにとってもいいことがあるかもしれません。

6. ふくしのマーク

私たちの住んでるまちの中には、見た目ではわからないけれど助けを必要としている人や、思いやりを持って見守ってほしい人がいます。それをまわりの人に知ってもらうため、いろいろなマークがあります。

マークと説明を線でつないでみよう！



● 「マタニティマーク」
あか 赤ちゃんがおなかにいるお母さんがつける

● 「介護マーク」
としょ お年寄りやからだが不自由な人が自分ひとりではできることのお手伝い（介護）をしていることをあらわす

● 「ほじょ犬マーク」
ふじゅう ひと からだの不自由な人のからだの一部となつて働いている「盲導犬」「介助犬」「聴導犬」が、一緒にお店に入ることをみんなに知らせる

● 「ヘルスマーク」
みわ 見て分かりづらい障害や難しい病気の人などがつける

しゃかいふくしきょうぎかい 7. 社会福祉協議会

しゃかいふくしきょうぎかい みじか しゃきょう よ
社会福祉協議会は 短くすると「社協」と呼ば
れます。藤枝市で「ふくし」の活動やボランテ
ィア活動などをしている人たちや、「ふくし」の
仕事をしている人たちと協力して、みんなが
住みやすい藤枝市になるように、様々な仕事を
をしています。

- みんなで助けあう活動を増やしていく仕事
- ふくしの学習の手伝い
- お年寄りやからだが不自由な人が、お風呂に入ったり、
着がえたり、ごはんを食べたりすることなどの手伝い
- お年寄りやからだが不自由な人の体調管理
- 藤枝市社協を支える仕事 など

キー坊も一緒にがんばっているので、見かけ
たらやさしく声をかけてね！

発行日 平成30年10月

発行 社会福祉法人 藤枝市社会福祉協議会

〒421-1131 藤枝市岡部町内谷1400-1 藤枝市福祉センターきすみれ内

電話 054-667-2940 FAX 054-667-3319

ホームページ <http://www.fujiedashakyo.jp>

~ Special Thanks to Kenshin, Keito, Hiroto, Haruto, Rai ~

この冊子は、赤い羽根共同募金助成金で作成しています

